

四国中央市山おこしプラン策定業務

企画提案書作成要領

四国中央市

四国中央市山おこしプラン策定業務 企画提案書作成要領

企画提案書（以下「提案書」という）は、以下の要領に基づいて作成すること。

1. 作成にあたっての留意事項

- (1) 提案書には、別紙「評価基準表」の評価項目について記載すること。記載順は各項目順に従って、項目番号を付して記載すること。
- (2) 用紙サイズは、A4判を基本とし、縦横は任意とする。A3判も可とするが、A4サイズに折り込むこと。ページ数は表紙、目次を含めて50ページ以内（A3判は片面につき2ページとカウントする。）にまとめ、ページ番号を付しておくこと。なお、30分以内で説明することに留意すること。
- (3) 提案書は、紙媒体16部及び電子媒体（CD-R又はDVD-R）1枚を提出すること。
- (4) 企画提案を評価する者（選定委員会委員）が、特段の専門的な知識を有していなくても評価が可能な提案書を作成すること。なお、やむを得ず専門用語等を使用する場合には、一般用語を用いて脚注を付記するなど、選定委員会委員が理解しやすいものとする。理解できない内容については、採点されない場合があることに留意すること。
- (5) 企画提案書は文章、図表などで簡潔かつ明瞭に記載することとし、多色刷り、両面印刷を可とする。
- (6) 第2次審査において、提案者名は公表しないため、企画提案書には提案者名を表記しないこと。審査結果通知書（第1次審査）にて、当市が指定する表記（例：A社、B社、C社、…等）を使うこと。
- (7) その他、本業務の目的達成にあたり必要と思われる業務内容や効果的・効率的な独自の手法等があれば提案を行うこと。

2. 価格提案に関する明細書作成に当たっての留意事項

- (1) 様式は任意とするが、仕様書の業務内容ごとに応じた額が分かる形式として、その積算の内訳を明記すること。
- (2) 価格提案書に追加提案項目がある場合は追加して記載すること。

評価基準表

	評価項目		評価の視点	配点
企画提案書評価	全般	業務理解度	① 業務目的、地域特性、山岳観光資源、移住定住及びインバウンド対策との関連性を理解した提案となっているか。	10
		類似業務実績	② 山岳観光、観光振興、地方創生、持続可能観光、インバウンド誘客等の実績を有しているか	10
		実施体制	③ 業務責任者・担当者の専門性、経験、進行管理体制が適切か。	10
	現状把握・調査	現状把握・調査手法	④ 観光実態調査、市民アンケート、ワークショップ、先行事例調査及びインバウンド受入環境調査等を通じ、地域課題や市民意向を適切に把握できる内容となっているか。	25
		分析力・課題整理	⑤ 調査結果を踏まえた分析力、課題整理が的確か。	20
	山おこしプランの作成	施策提案力	⑥ 山岳観光振興、誘客、周遊、移住定住等に関する提案が具体的かつ実効性が高いか。	25
		インバウンド向けコンテンツの開拓	⑦ 外国人観光客（インバウンド）のニーズやトレンドを捉え、本市の地域資源を活かした体験型・滞在型コンテンツの提案が具体的かつ実効性の高い内容となっているか。	20
		トライアルツアー企画力	⑧ ターゲット設定（外国人モニター含む。）、行程設計、安全対策、地域資源活用、誘客効果検証及び参加者満足度調査等が、具体的かつ実現性の高い内容となっているか。	20
		持続可能観光・地域共創	⑨ 日本版持続可能な観光ガイドラインの趣旨を理解し、市民生活との調和や地域住民との連携、ワークショップ等を通じた合意形成を意識した提案となっているか。	20
		デザイン・情報発信力	⑩ 概要版・パンフレット等について、視認性、訴求力、デザイン性に優れ、市民や観光客へ効果的に伝える工夫があるか。	15
	独自提案	⑪ 仕様書に提示している以外のことについて、トライアルツアー、デジタル活用、関係人口創出等、業務目的の達成に資する独自提案がされているか。	10	
価格評価	価格	⑫ 最低提案価格を基準価格とし、点数を配分する。 価格評価点 = (基準価格 ÷ 自社提案価格) × 15 点 小数点以下、四捨五入とする。	15	
評価点				200